

アイドルイベントへの参加意欲はどのように生まれるのか ～SKE48 を応援するファンからの話を元に～

1. はじめに

アイドルと聞いてどのようなアイドルを浮かべるだろうか。男性アイドルや女性アイドル、最近では韓国アイドルも多く存在する。昭和人気を遂げたアイドルとしては松田聖子、ピンクレディー、キャンディーズなど昔をときめくアイドルが多く存在する。私自身が小学生だった頃は「アイドル戦国時代」と呼ばれ、AKB48 やももいろクローバーZ など多くの女性アイドルがテレビに出演し目にするが多かった。しかし、最近ではアイドルがテレビへの出演の幅は広くはない。その中で女性アイドルが活動しているものとしてファンとの交流の場所が増加している。例えば、SNS 上で「リプ返」というアイドル自身がファンからのコメントに返信や、ライブ配信アプリを利用してファンからの質問にリアルタイムで答えるなど年々ファンとアイドルの交流は増えてきた。以前から開催されている握手会では CD 購入につき 1 枚の握手券がつき自分が応援しているアイドルと約 10 秒間握手し会話を楽しむことができる。しかし、新型コロナウイルスの影響で握手会の開催はできなくなってしまったが実際に会えなくてもビデオ通話のようにアイドルと会話ができるイベントも開催されている。2023 年になってからはイベントでは制限はありながらもパーティーションや飛沫防止フィルムの使用やメンバーは手袋をつけての握手会が開催され徐々にイベントが再開されている。

2. SKE48 とは？

SKE48 は 2008 年に愛知県名古屋市を拠点に AKB48 の姉妹グループとして誕生し同年 10 月にファンの前でお披露目された。今年でデビュー 15 周年を迎え今もなお活躍を遂げるアイドルグループである。グループ名の『SKE』は名古屋市の中心地でもある栄『SaKaE』の頭文字『SKE』からきている。AKB48 ではチーム制度をなくしたが、SKE48 は現在チーム制度をとっており、『チーム S』、『チーム KII (ケイツー)』、『チーム E』という 3 チーム体制で活動している。また、2022 年からは小室哲哉、韓国出身の DJ Night Tempo、ヒャダインが

楽曲提供した新公演が各チームでスタートし勢いのあるグループである。

なぜ今回 SKE48 に焦点を当てたのかというと私自身が一番長く応援しているアイドルグループでありイベントへの参加もしやすい環境になったからだ。以前まではイベントには参加せず自宅で SNS のチェックやテレビ番組の視聴をしていた。しかし、今年から東京に住むようになり現地へ足も運びやすくなったためファンの方との交流も多くなった。そこで、今回は現地に自ら足を運び口頭にて調査を行う。

先行研究では、江戸川大学の植田の研究によると『最近数年でアイドルファンは質的に変化した。かつて女性アイドルのファンは男性が中心であったが、アイドルが発信するメイクやファッションの情報に興味を持つ女性ファンが急増するようになっている。』という研究結果となっており、現在のアイドルグループの人気の傾向については言及されているもののグループ単体の結果は述べられていない。

本研究では、実際に筆者が SKE48 のイベントへ参加し現地で出会ったファンから話を聞きどのようなきっかけで応援するようになったのか、応援する上で何を感じているのかについてまとめる。

3. 予備調査

8月27日に東京お台場にある Zepp Diver City で行われた SKE48 の「Summer Zepp Tour2023」の昼公演、夜公演に参加しアイドルがファンに対しどのようなファンサービスを行っているのかをチェック→ファンサービスとして行われていたもの→自分の写真が載った団扇を見つけて手を振る、ファンからの要望に応える行為（アンコール）、ステージ上の上手と下手それぞれに分かれファンサービスなどが行われていた。

X(旧 Twitter)を用いてどのようなファンサが行われているのかをチェック→先日行われたジャニーズ Jr でのコンサート「わっしょい CAMP」では、ジャニーズ初の動画撮影と SNS 拡散が許可された。しかし、ジャニーズのアイドルがファンのスマートフォンを借り、一緒に画面上に映るといった「自撮りファンサ」は、一部のファンしか嬉しくない行為という意見があがり炎上した。次の日以降、「自撮りファンサ」が無しになった。

私自身も初めて握手会とトーク会に参加→名前を伝えるとインスタグラムへのコメントをしているため推しメンが私のことを知っており、実際に名前を呼んでもらえた。

松本の研究では、ファン心理が与える影響について歌詞の共感やアイドルの容姿に魅力を感じるという結果が述べられている。

4. 調査方法

調査対象者：SKE48 のイベントに参加しているファン

調査方法：筆者自身が9月から12月に行われた SKE48 のイベントに参加し現地で出会った SKE48 のファンを対象に口頭で質問や会話をしてまとめる。

調査期間：9月から12月の3ヶ月間

調査を行ったイベント：9月10日（日）SKE48 31st シングル『好きになっちゃった』握手会&トーク会（千葉県 幕張メッセ）

10月21日（土）SKE48 31st シングル『好きになっちゃった』現地でツーショット撮影会（千葉県 幕張メッセ）

11月4日（土）SKE48 が応援隊を務める FC 岐阜のステージイベント（岐阜県 長良川競技場）

11月12日（日）SKE48 が応援隊を務める FC 岐阜のイベントで行われたスタジアムライブ（岐阜県 長良川競技場）

12月6日（水）『チーム KII 8th Stage 「時間がない」公演』（愛知県 SKE48 劇場）

調査項目：SKE48 に関する質問

- (1) 基本情報（年代・性別）
- (2) 応援し始めたきっかけ→何を見て応援するようになったのか
- (3) アイドルからしてもらったファンサービスと嬉しかったこと→ウインク、指ハート、指差しなど
- (4) ファンの方への質問と回答
- (5) ファンの方の応援へかける思い

5. 結果（ファンの方に聞いた質問に対しての返答）

- (1) 基本情報

年代、性別は表1に示したとおりである。

表1 年代 性別

年代	女性	男性	計
10代	1	4	5
20代	3	5	8
30代	0	2	2
40代	0	1	1
50代	0	1	1
計	4	13	17

5.2 応援し始めたきっかけについて

年代/性別	応援し始めたきっかけ				計
	テレビ番組を見て	他グループからの応援	同郷のメンバーがいた	父の影響	
10代					
女性	0	1	0	0	5
男性	3	0	0	1	
20代					
女性	1	2	0	0	8
男性	2	2	1	0	
30代					
男性	2	0	0	0	2
40代					
男性	0	1	0	0	1
50代					
男性	0	1	0	0	1
計	8	7	1	1	17

テレビ番組を見て

- AKB48 のドラマに出演していた SKE48 のメンバーを見て応援するようになった。(30代男性)
- 2015年あたりに SKE48 を見てからファンになった。応援するメンバーが複数いる DD(通称誰でも大好き) で推しが卒業するごとに繰り上がって今のメンバーを応援するようになった(20代男性)
- 元々は AKB48 の渡辺麻友が気になり始めた後 SKE48 のシングル曲の MV を見て可愛い表情のメンバーに目がいき応援するようになった(応援歴10年以上)。(20代男性)
- テレビのバラエティ番組で見た SKE48 を見て応援するようになった(20代女性、30代男性)。
- 仕事の関係で東海地方へ転居した際にテレビで見た SKE48 のメンバーを見て応援し始めた(応援歴5年)。(20代男性)
- 当時、SKE48 のエースを務めていた松井珠理奈を見て2012年から応援し始めた。現在は別のメンバーを応援している。出身は愛知県外だが SKE48 を応援するために進学を

機に愛知県へ引っ越し就職後も愛知県に住んでいる。(20代女性)

- 総選挙をテレビで毎年見ており、SKE48のメンバーに目が行くようになりコンサートに行く。その後握手券を買ったが流行病の影響で握手会に行けなくなる。しかし、地元であった握手会に行きSKE48を本格的に応援するようになった(10代男性)
- 小学生の頃にテレビ番組に出演していたSKE48のメンバーが歌うだけではなくバラエティも本気でやっている姿を見て可愛いだけでなくなんでもする姿に心打たれて応援するようになった。(10代男性)

他グループからの応援

- AKB48の渡辺麻友が気になり始めた後SKE48のシングル曲のMVを見て可愛い表情のメンバーに目がいき応援するようになった(応援歴10年以上)。(20代男性)
- 以前は乃木坂46のメンバーを応援しておりその写真集に写っているSKEのメンバーが気になった。その後SNSに掲載されているSKE48の写真を見て応援するようになった(20代男性)
- 元々AKB48に在籍していたメンバーがSKE48に移籍したため、そのまま流れるように応援するようになった(40代男性)
- 当時グループを跨ぐ兼任制度というものがあり、SKE48とAKB48を兼任するメンバーが気になったこと。また、元々AKBにいたメンバーもSKEへ移籍したため後を追うようにSKE48を応援するようになった。また、以前から競馬が趣味で、SKEのメンバーが競馬の番組や企画に携わっており、握手会では競馬の話をするようになった。そこから、競馬を趣味に持つメンバーも同時に応援するようになった。(50代男性)
- AKB48の研究生を見て応援を始めた。その後2ヶ月前にお披露目されたばかりのSKE48 12期生のメンバーが気になるようになったことでSKE48を応援するようになった。(10代女性)

父の影響

- 父の影響で2010年ごろからAKB48を応援するようになり、物心がついた頃にはペンライトを振り応援していた。(10代男性)

同郷のメンバーがいた

- 岐阜県出身だったので当時3期生にいた岐阜県出身のメンバーを応援するようになり次々と岐阜県出身のメンバーを応援するようになった。現在も岐阜県出身のメンバーを応援している(20代男性)

5.3 アイドルからしてもらったファンサービス

- ギャップ萌え 普段はレスをしないような子がレスをした時は嬉しい 握手会の対応はそこまで良くなくても舞台上ではレスをしてくれると嬉しい(30代男性)

反対に何かレスをもらうよりもメンバーから怒られる方が好き 配信アプリのコメントに

対する反応が他の人と違う反応だと嬉しい (50 代男性)

- テストが近い時にメンバーに「テスト頑張って！」といってもらえて嬉しかった (10 代男性)
- 10 月にあったコンサートでメンバーが近くに来る演出があった時に団扇を掲げていたらメンバーに団扇を触ってもらった (40 代男性)
- メンバーに認知 (覚えてもらえているか) されているか定かではない時に自分に対してだけ他のファンとは違う対応をしてもらえた (他のファンには手を振るのみだったが自分には指ハートだった) (20 代男性)
- 自分の時だけ笑顔だった (20 代男性)
- 名前を覚えてもらえた (30 代男性)

5.4 ファンになって嬉しかったこと

- 帰りの新幹線で遭遇したこと 通路を挟んで隣にメンバーが来た (40 代男性)
- 劇場があるサンシャイン栄付近で自転車に乗っていたらメンバーから「この前見たよ」と言われて嬉しかった (50 代男性)
- SNS に送ったメッセージなどを送っていてそれをメンバー自身から「見てるよ」と言ってもらえたこと (30 代男性)

5.5 ファンの方への質問と回答

握手会やトーク会、ツーショット撮影会が開催されていますが、もし CD の販売がなく握手券だけの販売だった場合、何円までなら出せますか？ (握手会、トーク会への参加は CD1 枚 1,150 円を購入、ツーショット会は CD3 枚 3,500 円を購入して参加可能)

- 握手券だけの場合 2000 円ぐらいまでなら出せる ツーショット撮影会→今回は写真撮影の際の机が大きかったためメンバーの服装が写真自体に収めることが不可能だった。そのため机が小さくて 5000 円までなら出せる。
- 買う形態によって払う値段は変わってくる

握手会のような現場のイベント (握手会、劇場公演、コンサートなど推しが出演しているイベント) には月に何回の頻度で行っていますか？

- 基本 月 2 の頻度 住んでいる地域から近い人は月 3、4 のペース 愛知県街の場合は名古屋の劇場公演は月 1 から 2 ヶ月に 1 回のペース

いくつか有料コンテンツがあると思いますが、それに入会しようと思ったきっかけがあれば教えてください。

ファンクラブの場合

- 好きだから
- 年に 2 回ファンクラブ限定で無料送付される会報の内容が濃く、魅力的だから

- コンサートが行われる際のチケットの座席が優遇されやすいから。必ずしもいい席とは限らないが良い席に座れるという可能性を信じて (5人)

有料メールの場合

- 有料メールは基本2、3名とっている(4人)中には、別のグループのメールもっており、計10人のメールをとっている人もいた(1人)

最近ではAKB48がチーム制度をなくしましたが、SKE48のチーム制が無くなった場合どうしますか？

- チーム制をなくすことには反対 もし組閣(チーム編成)をするならば新公演が始まったばかりなので後2、3年経ってから組閣してほしい (5人全員)

もし今応援しているアイドルの推しメンがスキャンダルを起こした場合あなたは応援を続けますか？それとも応援するのをやめますか？また、どのような感情を抱きますか？

- メンバーによる。ニュースになるようなことなら応援はできない。またガチ恋(メンバーに恋している)のメンバーは嫌だ
- 内容にもよる 度が過ぎた行動は許せない(センシティブなこと)

6 Aを単推し(1人のメンバーしか応援していない)しているファンの方の話

アイドルを応援した経緯

2012年ごろ→元々テレビでAKBのことを応援していて前田敦子の『Q10』というドラマを見て演技が可愛いと思った

卒業発表があってから思い出としてAKBの映像を見なきゃと思ったそこから地上波の映像を全部録画した。卒業までと決めていたが継続して見るようになり峯岸みなみと渡辺麻友を推す

2015~16年ごろ→高橋みなみが卒業発表をした時期に全国握手会を狙ったが握手ができずと峯岸みなみと渡辺麻友の全国握手会に行った。そこでアイドルを応援することに区切りをつけるつもりだった(就職のタイミングとも重なったため)。しかし劇場には通っていないけど雰囲気味わいたくて秋葉原へよく行った。(モニター観覧)

以上のことから、仕事をしながらお金を使わないオタ活(テレビやSNSで応援)をしていた。社会人になり一年で東海地方へ転勤が決まる。東海地方に引っ越し後、地方局に出演するAを見て応援したいと思う。当時は仕事休みが平日のみであったため劇場に行っても無料で公演の視聴ができるモニター観覧、Aが出演する無料イベント、SKEの専用劇場があるサンシャインサカエの観覧車がコラボしている時には観覧車に乗りに行くなど握手会のような直接触れ合うイベントには参加できなかった(握手会は週末開催のため)。SKEのコンサート初参戦は2019年の『SKEBINGO! 炎の関東ツアー』

このコンサートに参戦したことから次は劇場公演、握手会とクリアしていきたいと思うようになった。推しメンのAに初めて「あなたが推しメンです」と伝えたのは2020年1月に

発売された楽曲の CD お渡し会だった。そこからコロナ禍になってしまい会いに行く機会が減る。

2021 年になり少しずつイベントが再開。初のトーク会参加はチケットを 3 枚購入し参加。もっと会いに行きたいなあと思うようになっている時にとある出来事がファンの方に起こる。

とある出来事をきっかけに本格的な応援活動を開始

当時に発売されたシングル楽曲は A にとって思い出のある場所で行った撮影になっていたのだが、立ち位置が予想よりも悪い位置となっていた。当時、A の有料コンテンツにてマイナスな発言があり、ファンとして嫌な予感がした矢先の出来事でファンとして悔しかった。そのような出来事があつた中とある方が A のブログを拾い、「外の間人が手を差し伸べてあげなきゃ」と言ってくれた。悔しい思いがあつたからこそ今応援しなきゃと思うようになり、トーク券を大量に買い占めた。量は 1 会場につき 30 枚で 4 会場あるため計 120 枚購入した。

とにかくメンバーの新規ファンを増やすために布教活動（ファンを増やすための行動）を行う。現地の会場で話しやすそうな方を狙って自分から話しかけ A のトーク会に参加しないかと誘う。当時 CD の封入されているイベント参加券を持っていればポスター交換ができるので A 以外のポスターを集めて話しかけ、相手が応援しているメンバーのポスターと引き換えに「次のイベントで A のチケットを購入していただけませんか？」とお声がけをする。中には断る人もいたがめげずにファンを増やすために行動した。そんな中でもいいよと言ってくれる方もいて A のトーク会に参加してくれる人を増やすことができた。

SNS 上でも A の魅力を発信→毎日 X (旧 Twitter) で A の日報を投稿 彼女の出演情報や公演情報など彼女にまつわる情報を毎日投稿。(現在も続けている) とにかく彼女のために行動。仕事が第一優先だが A の参加する週末のイベントには基本的に行くようにしている。(ただし、劇場公演は毎回入るわけにはいかないのを除く)

ファンの方の願い

- 選抜に返り咲いてほしい→A は過去に 2 回選抜メンバーになっているが 2018 年からは 5 年間入っていない。選抜メンバーだった当時は応援していなかったのが彼女が選抜として輝く姿を見たい。
- 写真集を出してほしい→スタイルに定評があるため

ファンとしての悩み

序列が下がっていることを目の当たりにしていること 過去は選抜メンバーだったのでチーム内でも人気は上の方だったのにも関わらず彼女のスカした態度が目立ちファンが減ってしまった。そこから序列が下り現在は下から 4 番目の位置まで落ちてしまった。少し前までは上の方の立ち位置だった

A 自身がアイドルは 25 歳までと言っているのが彼女は現在 24 歳でいつ辞めると言っても

おかしくない時期に来ている。そろそろ卒業発表しそうで不安。少し卒業しそうなフラグが立っている事も確かである。

7 結論

SKE48 を応援し始めたきっかけとしてテレビ番組をきっかけに応援しているファン、次いで AKB48 をはじめとする他グループから応援をし始めたファンが多かった。また、地元が同じ、もしくは地元のテレビ番組を視聴したことをきっかけに応援し始めたファンも多いため、東海地方を拠点に活動しているため同じ地方に住むファンが多い傾向にあることが考えられる。

また、SKE48 を応援するファンは SNS をチェックしているファンが多く、最近ではテレビ番組での露出が減っており、ネットの情報が頼りになることが多いようだ。握手会の開催やコンサートの開催などテレビでの情報解禁が少ないためネットに上がった情報を元に応援している人が多い傾向にある。私自身も情報の解禁を知ることや新たなイベントの開催などに関しては SNS や公式ホームページから知ることが多い。実際に、SKE48 への応援は AKB48 などの姉妹グループから応援している人が多く、他グループの良さを知った上で AKB48 との関わりが多い SKE48 を応援するという傾向も多くなっている。他にも、父親の影響で気づいたら応援を始め今も継続して応援しているというファンもいた。

従って、応援し始める時期はファンによって異なるが、応援し始めるきっかけは似ている傾向にあると考える。

イベントへの参加意欲に関しては、SNS での「返信」や「いいね」など反応をもらうことや「SHOWROOM」や「インスタライブ」などのライブ配信サービスを通じてコミュニケーションをとり、その後、イベントへ参加したいと思うようになることが多い傾向にあった。メンバーとの関わりにおいてアイドルとファンという距離感はあるつつもイベントに参加することで実際に覚えてもらえたり、趣味の話ができたりと話ができる環境があることで繰り返し会いに行きたいと思うようになるのだ。また、メンバー自身も会いに来てくれるファンには興味を持っており、イベントで直接会うことでファンの特徴を覚え会話を繋げている。

以上のことからファンの参加意欲は、実際に SNS 上で反応をもらえたことで喜びを持ち、その後、イベントに行くことでさらにメンバーの良さを知り、直接会話ができる握手会に行き覚えてもらえるという経験ができることから生まれるのではないかと考える。

今回の研究では、応援し始めたきっかけを全員から聞くことはできたものの、それ以外の質問には全員から回答を求めることができなかった。卒業論文では、全員へ同じ質問を行い、6 の回答のように話を聞いていけたらと考えている。さらなる調査は卒業論文で行う。

謝辞

今回、論文の作成にあたって、沢山の SKE48 のファンの方に協力していただきました。現

場への参加も浅い私ではありましたが快く引き受けてくださったファンの皆様には感謝しております。ありがとうございました。

参考文献

松本彩花(2022):ファン心理と主観的幸福感に関する検討 — ジャニーズと坂道シリーズのファンを対象に — . 初等教育論集 (国士舘大学) , 23pp. 125-139.

<https://kokushikan.repo.nii.ac.jp/records/15554>

(最終アクセス日 2024/01/18)

植田康孝(2019):アイドル・エンタテインメント概説(1) ～「デジタル・ディスラプション」が迫るアイドル相転移～. 江戸川大学紀要, 29, 79-107

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R000000004-I029594715>

(最終アクセス日 2024/01/18)